

行雲流水

No.266 令和4年11月14日発行

今年の「読書週間」を振り返って

校長 寒河江 正人

生徒諸君。

今年の「読書週間」は、「自分なりに本と親しむ」ことができましたか。

私は、この**14日間**。

「**30冊の本たち**」と出会うことができました。

なかでも、**吉村仁さんの「素数ゼミの謎」**がおもしろかったです。

読んだことのある人もいるでしょう。おすすめですよ。

楽しい、楽しい、14日間になりました。

さて、今回の最終日となる11月9日（水）。

生徒会図書委員会による「**読書会**」なるものが催されましたね。

今回の趣旨を図書委員が説明してくれました。

「**読書の秋の充実のきっかけづくり**」と「**読書で心豊かな人になろう**」です。

「**たいへんいい企画を運営・実施してくれたなあ。**」と感心しております。

事前の準備、当日の運営、ありがとうございました。

図書委員が司会を務め、「**感想の交流**」が行われました。

「**〇〇という疑問が寄せられていますか、みなさんは、どう考えますか？**」

「**〇〇さんは、「作者は、この作品で…….」ということを読者に伝えようとしたのではないか？」**と受けとめたそうですが、みなさんはどうですか？」

「**〇〇さんの感想をどう思いますか？**」などなど。

それぞれの学級で、それぞれの考え・感想が、いろいろ披露されたようですね。

読書の秋、今年の「**読書週間**」にふさわしい「**いいきっかけづくり**」になったと思います。